

① 自然にしか出来ないこと
② ひとにしかできないこと

護^[ごみ]美を心に。

株式会社タカノではクリエイティブな環境事業を展開します。
そして、これからの時代を担う若手アーティストたちをサポートします。

<http://www.takano1153.com>

☎ 0120-177-530

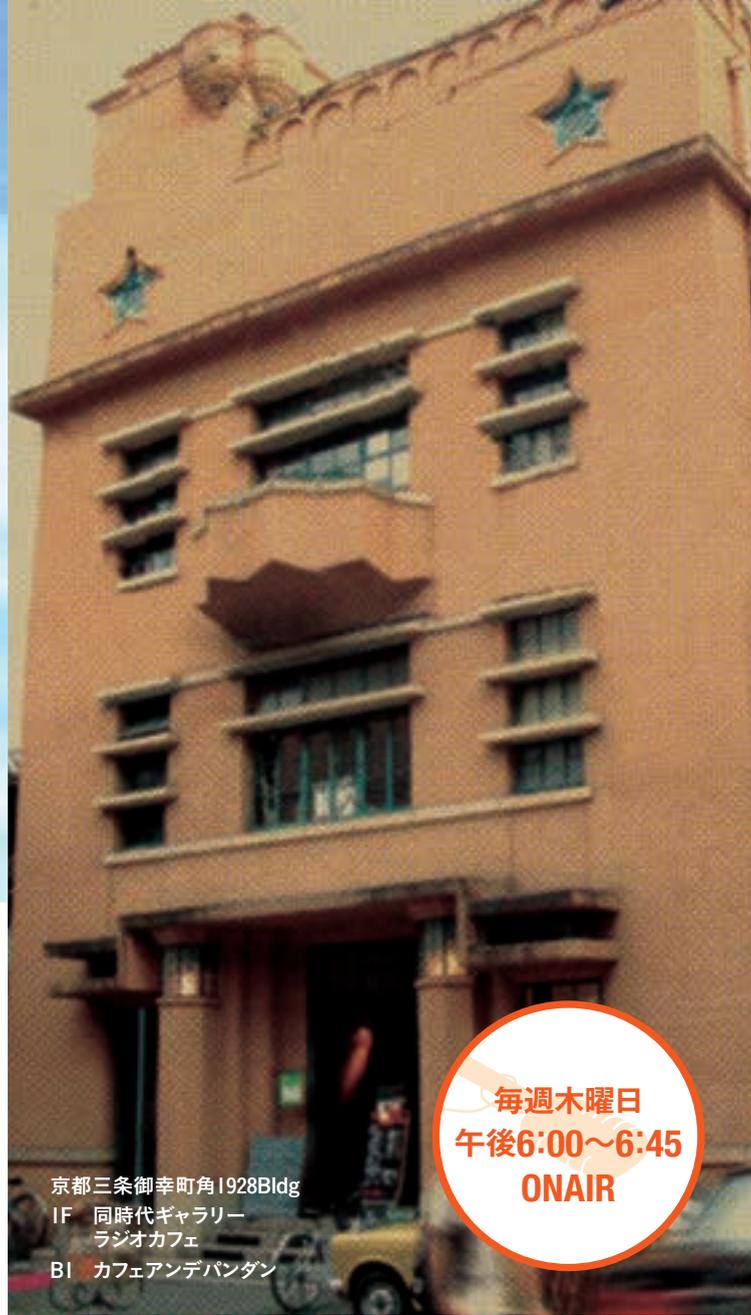
本社 京都府向日市上植野町南淀井17番地
長岡京支店 京都府長岡京市神足落述1番地



エコの森 京都で、 食品廃棄物が 生まれ変わる。

<http://www.economori.com>

●平成21年度食品リサイクル推進環境大臣賞受賞



京都三条御幸町角1928Bldg
1F 同時代ギャラリー
ラジオカフェ
B1 カフェアンデバンダン

毎週木曜日
午後6:00~6:45
ONAIR

今月の表紙

2016.11.29-12.4 『柞磨祥子 漆造形展 “Liquid 2”』/同時代ギャラリー
漆の透き通った黒が、“塗面”という概念を超えて不思議な液体となり訴えかけてくるような造形を探っています。

柞磨祥子/ Taruma Shoko	1991 広島県出身 2014 京都市立芸術大学美術学部工芸科漆工専攻 卒業 2016 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程 修了
-----------------------	---

FM
79.7
MHz
きょうと
京都三条
ラジオカフェ
これからラジオ

<http://kyotokorekara.jp/top/>

Vol.90



第1 木曜日は環境

きょうとこれからラジオ

11月1週目のゲストは、京都府長岡京市を盛り上げるイベント「長岡京ヴァリエッタ」の実行委員会から6名のみなさんにお越しいただきお話を伺いました。

◇長岡京ヴァリエッタとは? 「ヴァリエッタ」というのは、イタリア語で「いろいろ」を意味するそうです。そこでまちをより盛り上げるため「長岡京ヴァリエッタ」と銘打ち、長岡京で「いろいろ」イベントが同時に行われるフェスティバルを企画されました。今回は、愛と感動をテーマにした「ウォーターアートプロジェクト」・ワンコインで美味しいものが食べられる「ワンコインパル」・素敵なパートナーが見つかるかもしれない♡「恋来い婚活」・ミュージックを楽しみながらのんびりできる「長岡京ミュージック商店街」の4種類のイベントが同時開催されます! この「長岡京ヴァリエッタ」が、なぜ開催されることになったのか、どういう魅力があるのかなどイベントに参加しただけでは知れない秘話を楽しく語って頂いております☆是非お聴き下さい! ^^

長岡京ヴァリエッタについてもっと知りたい!! という方はこちらから!! ↓↓
「長岡京ヴァリエッタ」チラシ
<http://www.city.nagaokakyo.lg.jp/cmsfiles/contents/0000006/6254/tirasi.pdf>
長岡京市役所HP
<http://www.city.nagaokakyo.lg.jp/0000006254.html>

ゲスト▶▶ 「長岡京ヴァリエッタ」の実行委員会の皆様
パーソナリティ●太田航平 / 高野中也 アシスタント●大野詞帆



第2 木曜日はミュージック

これからミュージック♪



ゲスト▶▶ 「一乗寺 theDOP」代表 谷田 様
パーソナリティ●竹上久美子
アシスタント●ミノウラヒロキ

第5 木曜日は食

きょうと食通紀行



パーソナリティ●村山真平

第3 木曜日はスポーツ

これスポ



皆さま~師走の慌ただしい中、いかがお過ごしですか? 寒い中、元気に走り回ってるのは、子供たちとワンコくらいかな..... 喜撰坊では、柚子の収穫が始まりました。今年はずっとも大きい果実でゆべし作りが楽しみです。12月今年最後のゲストに、プロデューサー&フォトグラファーの坂口澄夫さんをお招きして素敵なお話を伺いました。何と言ってもスゴイのが、パリコレで15年間フォトグラファーとしてお仕事なさっていたということ!! 当時のお話も含めて楽しく語っていただきました。坂口さんのお嬢さんとそのご主人は、なんと喜撰坊に来ていただいているのです。ご縁がいっぱいで嬉しいですね。是非、お聴き下さいませ。平成28年、話ベタでなかなか上達しないおかみですが、一年間お付きあいいただきありがとうございました。来る年が皆さまにとって更に幸せと、佳きご縁がありますようにお祈り申し上げます。 喜撰坊のおかみより

ゲスト▶▶ 坂口澄夫 様
パーソナリティ●林幸佳 / 高野尚赫 / 丸山廣記 (京都サンガ広報部)



「これソン」
12月のこれソン

ふくい舞
「ゴーイング
マイウェイ」

第4 木曜日はアート

WIND UP ART KYOTO アートJO談

今月のゲストは、社会派アーティストとして、また、アートカウンシルの代表として、多方面で活躍されている、貴志カスケさんをお招きしました。貴志さんは、西山高原アトリエ村誕生に尽力され、今や、2日間の会期中に1000人近くの市民を集めるイベントの中心人物として、また、博物館ディスプレイを中心とする制作会社アートユニオンの代表として、また、政治社会問題にもアーティスト目線からの積極的な言動で注目されている方です。最近では、「京都市美術館の命名権売却問題」について、「考える会」のリーダーとして活動されています。①企業名を愛称として扱うという手法で市長決裁事項扱いにしている。②美術館整備計画の中味についてアーティスト、美術関係者による聴聞会が十分に行われず、行政関係者のみで整備計画が立案された。③「考える会」の人たちの主張は、身の丈にあった整備で良いのでは? という主張。というのを聴いて、我々が、何気なく見過ごしている問題に、大変大事な問題が含まれている事を改めて教えさせられたインタビューでした。えう! 聴取!!! (Jo)

ゲスト▶▶ 貴志カスケ 様
パーソナリティ●石田 浄 ART FORUM JARFO

